

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2021年7月12日から2026年8月10日まで
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	先進国（IMF（国際通貨基金）が定義する先進国・地域に準拠します。）の企業が発行する米ドル建て債券を主な投資対象とします。
組入制限	・株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	年1回の毎決算時（毎年8月10日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日）に原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当収益と売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。なお、信託財産の成長を優先させ、収益分配を行わない場合があります。

# シュロージャー先進国 債券ファンド2021-07 (限定追加型)

## 第2期 運用報告書(全体版)

(決算日 2023年8月10日)

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、「シュロージャー先進国債券ファンド2021-07 (限定追加型)」は、2023年8月10日に第2期の決算を行いました。

ここに、謹んで期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

シュロージャー・インベストメント・マネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-3  
丸の内トラストタワー本館21階  
<http://www.schroders.co.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

- ・投資信託営業部 電話番号 03-5293-1323
- ・受付時間 9:00～17:00(土・日・祝日は除く)

**Schroders**  
シュロージャー・インベストメント・マネジメント

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	騰落		債組入比率	債券先物比率	純資産総額
		税金	中期騰落			
(設定日)	円	円		%	%	百万円
2021年7月12日	10,000	—	—	—	—	6,527
1期(2022年8月10日)	10,047	0	0.5	112.0	—	9,863
2期(2023年8月10日)	10,332	0	2.8	120.3	—	9,402

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 基準価額、税込み分配金は1万円当たり。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	債券率
		騰落	騰落率			
(期首)	円		%	%	%	%
2022年8月10日	10,047	—	—	112.0	—	—
8月末	10,099	0.5	0.5	114.1	—	—
9月末	10,049	0.0	0.0	116.5	—	—
10月末	10,112	0.6	0.6	118.3	—	—
11月末	10,056	0.1	0.1	113.5	—	—
12月末	9,990	△0.6	△0.6	109.9	—	—
2023年1月末	10,125	0.8	0.8	109.4	—	—
2月末	10,232	1.8	1.8	111.7	—	—
3月末	10,046	△0.0	△0.0	111.7	—	—
4月末	10,122	0.7	0.7	112.6	—	—
5月末	10,177	1.3	1.3	116.5	—	—
6月末	10,312	2.6	2.6	120.0	—	—
7月末	10,351	3.0	3.0	117.2	—	—
(期末)						
2023年8月10日	10,332	2.8	2.8	120.3	—	—

(注) 基準価額は1万円当たり。

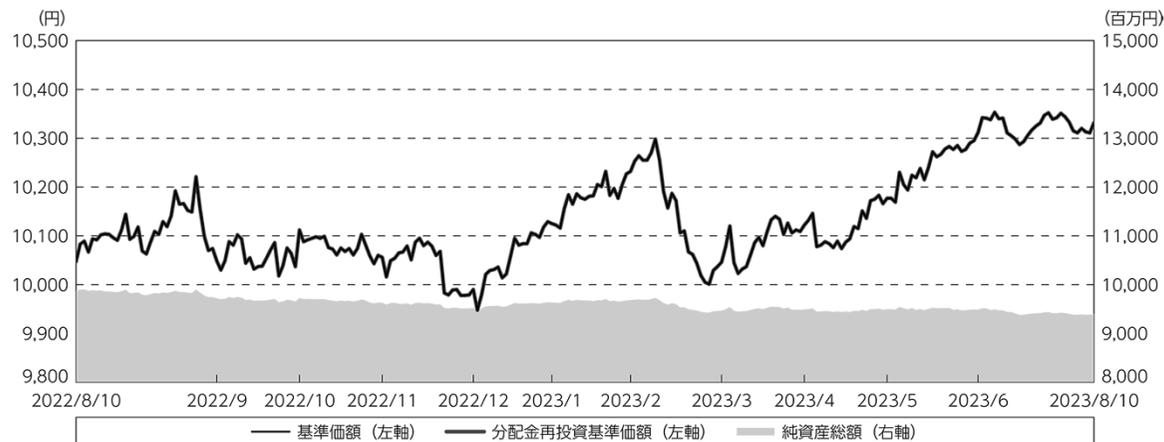
(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○運用経過

(2022年8月11日～2023年8月10日)

期中の基準価額等の推移



期首：10,047円

期末：10,332円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率： 2.8% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2022年8月10日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○基準価額の主な変動要因

期首10,047円でスタートした基準価額は、10,332円(分配後)で期末を迎え、期首比2.8%(分配金再投資ベース)の上昇となりました。

当期、当ファンドはプラスのリターンとなりました。当期、期を通してインフレ懸念の高まりから先進国債券市場は下落(債券利回りは上昇)しましたが、当ファンドにおいては、金融セクターおよび一般消費財・サービスセクターの債券の保有、またBBB、BB格の債券の保有がプラス寄与となり、プラスのリターンとなりました。

## 投資環境

当期、グローバル債券市場の利回りは上昇しました。期初、主要国の国債利回りは上昇しました。米国は、インフレ圧力が継続するなか、米連邦準備制度理事会（FRB）が大幅な利上げを継続するとの見方から、米回国債利回りは2022年10月半ば過ぎまで徐々に上昇する展開となりました。政策金利が2023年に4.6%に達するとの見通しが示され、米回国債利回りの上昇の勢いが増しましたが、2022年11月に入ると、米国では10月の消費者物価指数（CPI）の伸びが減速したことを受けて、今後の利上げペースが緩やかになるとの観測が台頭し、米国をはじめ主要国の国債利回りは低下（債券価格は上昇）基調となりました。2023年に入ると、米国では雇用統計で賃金の伸びが鈍化したほか、12月のCPIが前月比で低下し、前年比でも伸び鈍化が継続したことから引き続き国債利回りは低下しました。2023年2月には、堅調な米雇用統計を受け、再び利上げ長期継続観測が台頭し、国債利回りが上昇する局面もありましたが、3月には、シリコンバレー銀行の破綻やクレディ・スイスのUBSによる買収を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まり、米回国債利回りは低下しました。3月半ば以降は、債務上限問題が意識された一方で、米国の地方銀行に対する懸念が再燃したことから、概ね一定のレンジ内での動きとなりましたが、6月以降、堅調な経済と緩慢なインフレ鈍化を背景に年内に追加利上げが必要となるとの見方が示され、米回国債利回りは上昇しました。当期の国債市場では、米国10年債の利回りは2.78%から4.11%、ドイツ10年債の利回りは0.89%から2.53%、英国10年債の利回りは1.95%から4.36%に上昇しました。クレジット市場については、米国投資適格社債市場、米国ハイイールド社債市場いずれのリターンも米回国債市場のリターンを上回る結果となりました。

## 当ファンドのポートフォリオ

当期、ポートフォリオでは、市場動向を注視しつつ、リスクを抑えた運用を行い、格付別ではBBB格、AAA格の投資適格債を中心に保有し、ポートフォリオの平均格付についてはBBB格としています。国別では、米国の組入れを最も高位とし、次に英国、フランスの組入れを高位としています。セクター別には、銀行、景気循環消費財、エネルギーなどを中心とした組入れとしています。

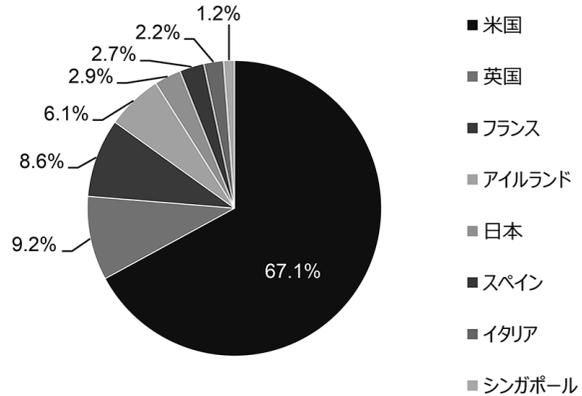
（格付はS&P、フィッチ・レーティングス、ムーディーズのうち上位の格付を採用し、格付が取得できない銘柄についてはシュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社の内部格付けを使用しております。ポートフォリオ全体の格付け（平均格付）については、それらの情報を基に組入銘柄にかかる格付を加重平均したものであり、当該ポートフォリオ自体の信用格付ではありません。以下、同じです。）

作成基準日：2023年7月31日

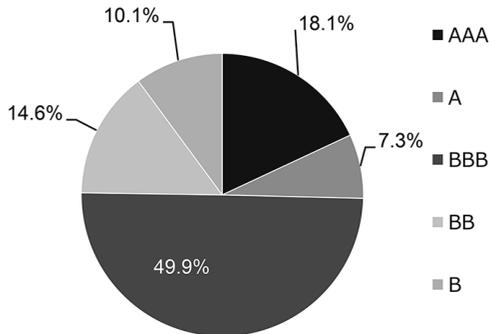
■ 資産構成比率

内訳	比率
社債	96.0%
国債	21.2%
キャッシュ等	-17.2%
合計	100.0%

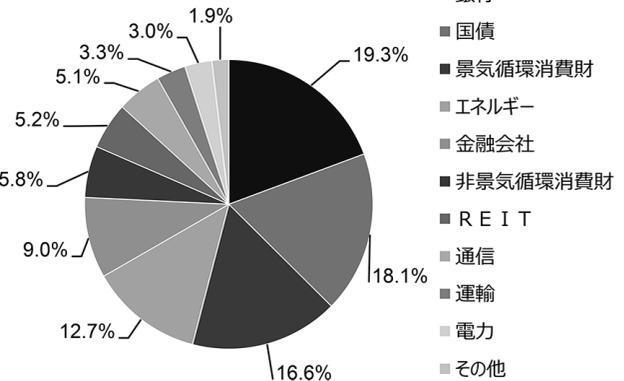
■ 国・地域別組入比率



■ 格付別組入比率\*



■ 業種別組入比率



出所：シュローダー・グループ、BRS Aladdin、およびBloomberg Finance L.P.のデータを基にシュローダー・インベストメント・マネジメント作成。

※ 国・地域は発行体のブルームバーグによるカントリーリスク対象国に基づいて記載。業種は組入資産のブルームバーグ業種(BICSレベル3)に基づいて記載。

※ 資産構成の組入比率は、純資産総額比です。

※ 格付別、国・地域別、業種別組入比率は、組入証券部分を100%とした場合の比率です。

※ 組入比率グラフについては、四捨五入により合計が100%にならない場合があります。

\* スタンダード&プアーズ、フィッチ・レーティングス、ムーディーズで格付けが取得できない銘柄については、弊社の内部格付けを使用しております。平均格付は、それらの情報を基に最高格付けを加重平均したものであり、当該ポートフォリオ自体の信用格付ではありません。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

## 分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準、市場動向、信託財産の規模等を考慮し、当期の収益分配は見送らせていただきました。なお、留保益については、特に制限を設けず、当社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

## ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第 2 期	
	2022年8月11日～ 2023年8月10日	
当期分配金	—	
(対基準価額比率)	—%	
当期の収益	—	
当期の収益以外	—	
翌期繰越分配対象額	941	

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下四捨五入して算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の運用方針

堅調な米国経済とインフレの鈍化を受けて、少なくとも当面は景気後退が回避される可能性との市場の見方が足元高まりつつあります。しかしながら、高水準のインフレが長期化するリスクは高く、今後も引き続きインフレ動向には注意が必要と考えます。中央銀行が緩和姿勢に転じる主なカタリストの一つに労働市場の悪化が挙げられますが、米国、欧州とも雇用は底堅さが続いており、債券市場は当面は方向感を欠く展開となることが見込まれます。インフレと経済成長の道筋が明確になるまでは、全体的な市場の方向性が見えてくる可能性は低いと考える一方、地域的な乖離は継続すると予想します。堅調な米国経済に対し、欧州中央銀行(ECB)は経済成長の減速に敏感になっており、フォワード・ガイダンスで柔軟性を示唆する可能性が高まっています。現在は資本市場のボラティリティ(変動性)が低下しており、インカム追求にとって好環境といえます。しかしながら、景気後退リスクは依然存在しているとの見方を維持し、保守的な姿勢で質の高さを追求することが賢明だと考えます。金利の上昇により、特に負債比率の高い企業においては、借入金等の利息の支払能力を測る指標であるインタレスト・カバレッジ・レシオが低下するため、デフォルトが増加すると予想されます。このような環境下においては、グローバルの経済動向を見極めつつ、保有銘柄の信用リスク状況を注視したポートフォリオ運営を継続する方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年 8 月11日～2023年 8 月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	87	0.858	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(45)	(0.440)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファンドの運用判断、受託会社への指図</li> <li>・基準価額の算出ならびに公表</li> <li>・運用報告書等法定書面の作成、および受益者への情報提供資料の作成等</li> <li>・運用報告書等各種書類の交付</li> <li>・口座内でのファンドの管理、および受益者への情報提供等</li> <li>・ファンドの財産保管・管理</li> <li>・委託会社からの指図の実行等</li> </ul>
( 販 売 会 社 )	(39)	(0.385)	
( 受 託 会 社 )	( 3 )	(0.033)	
(b) そ の 他 費 用	8	0.075	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 1 )	(0.007)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	( 2 )	(0.020)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( 印 刷 費 用 )	( 5 )	(0.048)	・印刷費用は、印刷会社等に支払う運用報告書作成等に係る費用
( そ の 他 )	( 0 )	(0.000)	・その他は、グローバルな取引主体識別子 ( L E I : Legal Entity Identifier ) 登録費用、金銭信託手数料等
合 計	95	0.933	
期中の平均基準価額は、10,139円です。			

(注) 期中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

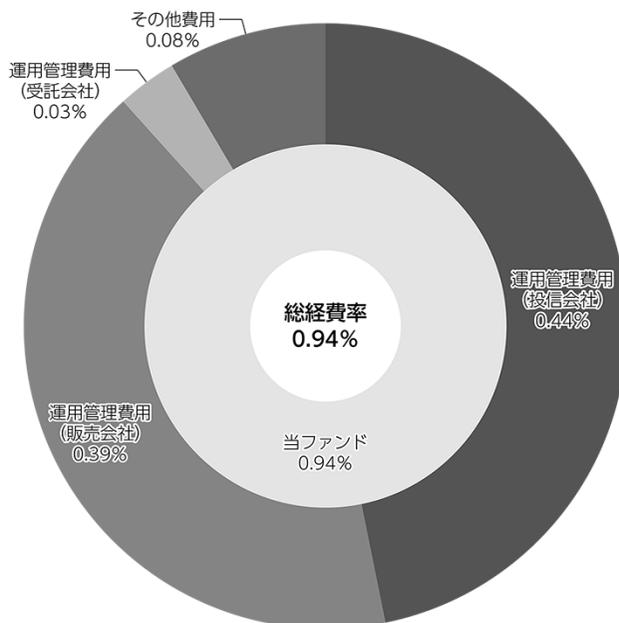
(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券 (投資証券等を含む) が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.94%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年8月11日～2023年8月10日)

公社債

		買付額		売付額	
外国	アメリカ	国債証券	千米ドル 8,616	千米ドル	5,734
		社債券 (投資法人債券を含む)	7,898		9,639
					(3,051)

(注) 金額は約定代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切り捨て。

(注) ( )内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 社債券 (投資法人債券を含む) には新株予約権付社債 (転換社債) は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2022年8月11日～2023年8月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年8月10日現在)

外国公社債

(A) 外国 (外貨建) 公社債 種類別開示

区分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	82,731	78,544	11,307,276	120.3	29.7	—	102.6	17.6
合計	82,731	78,544	11,307,276	120.3	29.7	—	102.6	17.6

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 単位未満は切り捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	柄	当 期 末				償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ		%	千米ドル	千米ドル	千円	
国債証券	US 0.75% 30/04/26	0.75	652	590	84,941	2026/4/30
	US 1.625% 15/05/26	1.625	1,201	1,112	160,127	2026/5/15
	US 1.875% 30/06/26	1.875	4,743	4,417	635,979	2026/6/30
	US 1.875% 31/07/26	1.875	5,247	4,875	701,937	2026/7/31
	US 2.125% 31/05/26	2.125	315	295	42,566	2026/5/31
	US 3.75% 15/04/26	3.75	2,961	2,903	418,023	2026/4/15
	US 4.5% 15/07/26	4.5	607	607	87,486	2026/7/15
普通社債券 (含む投資法人債券)	AERCAP IRELAND 1.75%	1.75	2,690	2,437	350,926	2026/1/30
	AETHON UN/AETHIN 8.25%	8.25	1,270	1,261	181,637	2026/2/15
	AIRCASTLE LTD 5.25%	5.25	2,360	2,304	331,777	2025/8/11
	AVOLON HOLDINGS 4.375%	4.375	2,520	2,380	342,687	2026/5/1
	BARCLAYS PLC 5.2%	5.2	2,300	2,242	322,789	2026/5/12
	BAT INTERNATIONAL1.668%	1.668	2,400	2,176	313,399	2026/3/25
	BBVA GLOBAL FINANCE 7%	7.0	2,100	2,127	306,322	2025/12/1
	BLUE RACER MID 7.625%	7.625	1,290	1,299	187,088	2025/12/15
	BNP PARIBAS 4.375%	4.375	2,500	2,412	347,233	2026/5/12
	BOEING CO 3.1%	3.1	99	93	13,446	2026/5/1
	BPCE SA 4.875%	4.875	2,250	2,174	313,036	2026/4/1
	CARNIVAL CORP 10.5%	10.5	1,400	1,473	212,125	2023/8/11
	COMMSCOPE FINANCE 6%	6.0	770	685	98,745	2026/3/1
	CONSTELLIUM 5.875%	5.875	684	675	97,299	2026/2/15
	CRESTWOOD MIDSTRE 5.75%	5.75	1,399	1,378	198,477	2025/4/1
	CROWNROCK 5.625%	5.625	1,250	1,224	176,288	2025/10/15
	CUMULUS MEDIA 6.75%	6.75	1,230	917	132,106	2026/7/1
	DELTA AIR LINES 7%	7.0	2,510	2,559	368,498	2025/5/1
	EG GLOBAL FINANCE 6.75%	6.75	421	412	59,423	2025/2/7
	EXPEDIA INC 5%	5.0	540	535	77,127	2026/2/15
	GENERAL MOTORS 1.5%	1.5	2,720	2,426	349,321	2026/6/10
	HCA INC 5.875%	5.875	2,340	2,346	337,757	2026/2/15
	HESS INFRAST 5.625%	5.625	606	593	85,503	2026/2/15
	HYUNDAI CAPITAL 1.5%	1.5	1,620	1,446	208,277	2026/6/15
	INTESA SANPAOLO 5.71%	5.71	1,750	1,684	242,462	2026/1/15
	LLOYDS BANK PLC 4.65%	4.65	1,240	1,194	172,031	2026/3/24
	Las Vegas Sands 2.9%	2.9	590	555	79,946	2025/6/25
	NCL CORPORATION 3.625%	3.625	1,420	1,358	195,627	2024/12/15
	NISSAN MOTOR CO 3.522%	3.522	2,440	2,312	332,842	2025/9/17
	NUSTAR LOGISTICS 6%	6.0	1,000	983	141,532	2026/6/1
	OFFICE PROPERTIES 2.65%	2.65	1,740	1,285	185,112	2026/6/15
	OMEGA HEALTHCARE 5.25%	5.25	1,420	1,391	200,342	2026/1/15
	PLAINS ALL AMER 4.65%	4.65	1,573	1,538	221,544	2025/10/15
	PUMA INTERNATIONAL 5%	5.0	1,020	932	134,241	2026/1/24
	Pacific Gas 3.15%	3.15	2,550	2,381	342,912	2026/1/1
	ROYAL CARIBBEAN 11.5%	11.5	539	570	82,155	2025/6/1
	SABINE PASS LIQ 5.875%	5.875	709	714	102,789	2026/6/30

銘	柄	当 期 末					
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日	
				外貨建金額	邦貨換算金額		
アメリカ		%	千米ドル	千米ドル	千円		
	普通社債券 (含む投資法人債券)	SOCIETE GENERALE 4.75%	4.75	2,280	2,193	315,713	2025/11/24
		STANDARD CHARTER 4.05%	4.05	1,220	1,177	169,567	2026/4/12
		TOWNSQUARE MEDI 6.875%	6.875	1,312	1,260	181,430	2026/2/1
		VORNADO REALTY 2.15%	2.15	1,650	1,420	204,459	2026/6/1
		WARNERMEDIA HLGS 3.638%	3.638	1,883	1,824	262,661	2025/3/15
		WYNN LAS VEGAS 5.5%	5.5	1,400	1,372	197,542	2025/3/1
合 計						11,307,276	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2023年8月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 11,307,276	% 95.2
コール・ローン等、その他	575,586	4.8
投資信託財産総額	11,882,862	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産 (11,497,572千円) の投資信託財産総額 (11,882,862千円) に対する比率は96.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=143.96円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年8月10日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	28,733,880,645	
コール・ローン等	64,694,020	
公社債(評価額)	11,307,276,921	
未収入金	15,030,174,014	
未収利息	123,265,110	
前払費用	4,270,228	
差入委託証拠金	2,204,200,352	
(B) 負債	19,331,734,269	
未払金	17,084,653,411	
未払信託報酬	40,458,835	
差入委託証拠金代用有価証券	2,204,200,352	
その他未払費用	2,421,671	
(C) 純資産総額(A-B)	9,402,146,376	
元本	9,099,792,242	
次期繰越損益金	302,354,134	
(D) 受益権総口数	9,099,792,242口	
1万円当たり基準価額(C/D)	10,332円	

[元本増減]	
期首元本額	9,817,129,361円
期中追加設定元本額	0円
期中一部解約元本額	717,337,119円

○損益の状況 (2022年8月11日～2023年8月10日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	528,253,604	
受取利息	524,840,927	
その他収益金	3,413,514	
支払利息	△ 837	
(B) 有価証券売買損益	△ 180,180,272	
売買益	936,911,212	
売買損	△1,117,091,484	
(C) 信託報酬等	△ 89,615,380	
(D) 当期損益金(A+B+C)	258,457,952	
(E) 前期繰越損益金	60,597,507	
(F) 追加信託差損益金	△ 16,701,325	
(配当等相当額)	( 1,647,473)	
(売買損益相当額)	(△ 18,348,798)	
(G) 計(D+E+F)	302,354,134	
(H) 収益分配金	0	
次期繰越損益金(G+H)	302,354,134	
追加信託差損益金	△ 16,701,325	
(配当等相当額)	( 1,647,473)	
(売買損益相当額)	(△ 18,348,798)	
分配準備積立金	855,131,146	
繰越損益金	△ 536,075,687	

- (注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(438,638,224円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,647,473円)および分配準備積立金(416,492,922円)より分配対象収益は856,778,619円(10,000口当たり941円)ですが、当期に分配した金額はありません。

(注) 当ファンドの運用にあたってはシュローダー・インベストメント・マネージメント・ノースアメリカ・インクに有価証券等の運用の指図に関する権限を委託しております。その費用として、委託者報酬のうち、販売会社へ支払う手数料を除いた額より、運用権限委託契約に定められた報酬額を支払っております。

○分配金のお知らせ

1万円当たり分配金(税込み)	0円
----------------	----

<分配金について>

- ・収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」があります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本(受益者のファンドの購入価額)と同額または上回る場合は、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)、残りの額は普通分配金となります。
- ・分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。